

【明石市】 1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

高速通信ネットワークを活用した「1人1台端末」のICT環境を合わせて活用することで、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。

特に、デジタルの優位性を生かし、個の学びを集団で共有したり、多様な考えを知ったりする場面を設定することで、個別の学びと協働的な学びを往復させ、学びの質の向上を目指す。

2. GIGA第1期の総括

本市は令和2年度に国のGIGAスクール構想を踏まえ、1人1台端末を整備した。学習支援ソフトやデジタルドリル等の導入・研修を行い、端末を日常的に活用するようになっている。また、令和4年度から端末の家庭への持ち帰りを実施し、家庭学習においても端末を活用するようになった。

これらの取組の結果、全国学力・学習状況調査において「授業でタブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用した割合」が少しずつ高くなり、ICTが児童生徒にも「学びの道具」として定着しつつある。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和7年度に予定している1人1台端末の更新を控えて、項目1で述べた1人1台端末を始めとするICT環境によって目指す学びの姿を実現するために、以下の方策で利活用を推進する。

(1) 1人1台端末の積極的活用を進めるために

① 教職員研修

オンラインや訪問研修で、操作や教科等の学びを深める活用につなげられる研修を実施する。また、研修動画や資料をライブラリ化していつでも閲覧・活用できるようにする。

② 教員主体のICTを活用した授業実践研修講座の支援

現場の教員が、主体的にICTを活用した授業実践の開発を行うことを支援し、教員同士が学び合う機会を通してICT活用スキルの向上や定着、底上げを行う。また、活用実践成果を市内で共有する。

③ 学校ICT支援員の派遣

ICT機器に関する研修や授業の補助、支援をする。

④ 担当者会支援

教科の中でICT機器を効果的に活用できるよう、担当者会を支援する。

⑤ 学びの保障について

端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持するとともに、ネットワーク環境を整備し、児童生徒の学びを止めない学習環境を構築し、より一層の有効活用に取り組む。

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のために

① 高速通信ネットワーク環境の整備

学級数が増加しても安定して授業が行える環境整備を目指す。

② 全普通教室へ整備した常設型大型提示装置の活用

資料や連絡事項等を映し、情報を「視覚化」「共有化」していくことで、学習内容の理解促進や見通しをもって生活を送れる環境づくりにつなげていく。

③ デジタルドリルの活用

子どもたちの習熟度や学習状況を把握し、個に応じた学習支援につなげていく。